

環境への
取組み

自然に寄り添う

豊かな自然、歴史を
未来へ繋いでいきます。

バス事業の取組み



グリーン経営認証の取得

三重交通(株)

三重交通(株)は、自主的な環境保全活動に関する認証制度「グリーン経営認証」の取得を推進しています。グリーン経営認証は、国土交通省の外郭団体「交通エコロジー・モビリティ財団」が認証機関となり、「環境保全のための仕組み・体制の整備」「エコドライブの実施」「低公害車の導入」等の6項目について、一定レベル以上の基準を満たす事業所に対して認証及び登録を行う制度です。2012年から名古屋・名古屋観光営業所、四日市・北部観光営業所、中勢・中部観光営業所の各営業所で取得し、2020年3月には本社でも認証を取得しました。



環境定期券制度の実施

三重交通(株)

三交伊勢志摩交通(株)

三重急行自動車(株)

八風バス(株)

三重交通グループバス会社4社では、環境定期券制度を実施しています。普段定期券でバスをご利用いただくお客様が、土曜・休日に定期券区間外へレジャーやショッピングにお出かけの際、運賃を通常の半額に設定することで、マイカー利用を少しでも減らし、バスの利用促進を図ろうとする制度です。この制度により、市内中心部の交通渋滞の緩和や排気ガスの抑制等を図り、環境保全に努めています。

環境にやさしい電気バス

三重交通(株)

三重交通(株)では、国、三重県、伊勢市が推奨する「低炭素なまちづくり」の実現に向けて、2014年3月から全国でも先駆けとなった「大型電気バス」を伊勢市内で運行しています。電気バスは、ディーゼルバスが1日6往復で1年間走行した場合と比べ、杉の木945本が吸収する量に相当するCO₂(12トン)を削減できます。2020年3月には、バスボディと車内に施した「ポケモン」のデザインを新しいでんきタイプも加えてリニューアルし、より楽しく思い出に残る旅にさせていただくとともに、本取組みのさらなる浸透を図っています。



©2020 Pokémon. ©1995-2020 Nintendo/Creatures Inc. /GAME FREAK inc.

ハイブリッドバスの導入

三重交通(株)

名阪近鉄バス(株)

三重交通(株)では、2013年10月より「ハイブリッドバス」を積極的に導入し、運行しています。このバスはエンジンとモーターが効率よく働くパラレル式ハイブリッドシステムを搭載し、エネルギー効率の高い環境性能に優れた低公害車で、環境にやさしい設計となっています。



導入実績
 2013年度・中勢営業所5両 2017年度・四日市営業所2両
 2016年度・伊勢営業所2両 2018年度・南紀営業所3両

名阪近鉄バス(株)においても、2014年度に若森営業所へ1両導入しています。



連節バスの導入

三重交通(株)

三重交通(株)では、2020年10月、11月にそれぞれ1両(計2両)のハイブリッド連節バス(いすゞ自動車製)が伊勢営業所に納車されました。2020年12月から伊勢市外宮内線線でプレ運行、さらに2021年4月から本格運行を予定しています。導入にあたっては、2019年9月に同車種にて試験運行を実施し、走行環境や道路状況等の調査を実施しました。連節バスは通常の大形バスに比べて約7.5m長く、乗車定員も約40人増加するため、輸送効率が向上し、公共交通機関の利用促進や、観光交通の渋滞軽減等を期待しています。



2020年10月導入車両

その他環境にやさしいバスの導入

三重交通(株)

名阪近鉄バス(株)

三交伊勢志摩交通(株)

三重急行自動車(株)

八風バス(株)

三重交通グループバス会社全社では、その他様々な低公害車を導入し、環境対策に積極的に取り組んでいます。

排気ガスや燃料消費を抑制するために、バス停や信号待ち等で自動的にエンジンを停止させる「アイドリングストップバス」を採用しています。

Nox(窒素酸化物)やPM(粒子状物質)の排出量がより少ない低排出ガス車(低排出ガス認定車)等、最新排出ガス規制適合車を積極的に導入しています。
(平成27年度燃費基準15%向上達成車、「ポスト・ポスト新長期排出ガス規制」適合車等)

パーク&バスライドでシャトルバスを運行

三重交通(株)

三重交通(株)では、新春及びゴールデンウィーク等の伊勢神宮参拝客に対するパーク&バスライド実施期間中、シャトルバスを運行しています。これはマイカーを三重県営サンアリーナ周辺の駐車場へ駐車し、そのお客様を伊勢神宮(浦田駐車場及び外宮)までの間、バスで送迎を行うシステムです。観光交通の渋滞を緩和でき、二酸化炭素排出の軽減や温暖化防止に繋がっています。



燃費コンテストの実施

三重交通(株)

三交伊勢志摩交通(株)

三重急行自動車(株)

八風バス(株)

三重交通グループバス会社4社は、2019年6月1~30日、11月1~30日の各期間において燃費コンテストを実施しました。本コンテストは、バスの燃費向上・エコドライブの意識付けを目的に実施しており、各営業所・各社ともに前年比燃費2%向上の目標を掲げて取り組みました。



その他事業の取組み



太陽光発電事業を推進

三交不動産(株)

三交不動産(株)は「伊勢二見メガソーラー光の街」等28ヶ所での発電事業に加え、2020年10月に「津メガソーラー杜の街中勢バイパス発電所」(点在する5発電所の総称)が運転を開始しました。発電規模は114メガワット、年間発電量は約14,013万kWhとなり、約38,900世帯分の一般家庭消費電力量に相当します。



津メガソーラー杜の街中勢バイパス発電所

バス営業所での太陽光発電

三重交通(株)

三重交通(株)は、2017年6月に四日市営業所、9月に中勢営業所、11月に伊賀営業所において、バス駐車場に上屋及び太陽光発電設備を設置。3ヶ所の年間総発電量は約210万kWhになります。太陽光発電設備を備えた上屋設置の利点として、荒天時の点検等の作業環境の向上や、バス車両の夏季冷房負荷軽減、冬季の霜対策、塗装保護があります。さらに、太陽光発電による売電収入で設備投資の回収や、再生可能エネルギーの利用普及を期待しています。



中勢営業所

※世帯数、発電所数は各社の基準により算定しています。

ZEH住宅への取り組み

三交不動産(株)

三交不動産(株)ではZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)登録ビルダーとしてZEH住宅の普及に積極的に取り組んでいます。家庭での消費エネルギーが増加傾向にある今、政府のエネルギー基本計画では「住宅については、2020年までに標準的な新築住宅で、2030年までに新築住宅の平均でZEHを目指す」とされています。三交不動産(株)の注文住宅では、標準仕様の外断熱工法でZEH断熱基準にしっかりと対応しています。今後も政府が定める「エネルギー基本計画」に基づき、事業目標を掲げ、省エネ・エコ住宅の普及拡大に努めていきます。



ZEHとは、
省エネ+創エネで
消費エネルギーが
実質ゼロとなる
住まいです。

ZEHに認定される性能基準

断熱性能

平成25年度省エネ基準を満たした上で、外皮熱貫流率(UA値)が0.6[W/m²k]以下

三交不動産(株)
「三交ホーム」の標準断熱性能は、
ZEHの断熱基準に対応



省エネ性能

給湯、照明、冷暖房設備等、
エネルギー消費量から20%以上削減できる



創エネ性能

太陽光発電等の再生可能エネルギーを導入し、
エネルギー消費量から100%以上削減できる

省資源化への取り組み

(株)三交イン

(株)三交インでは、「楽しくECOを考えます」のスローガンのもと、客室へのアメニティ設置はせず、フロントで「必要なものだけ」を自由に選べる「アメニティBAR」をご用意しています。また、連泊されるお客様に対し、ご希望があれば「清掃不要」を手軽に宣言いただけるよう、マグネットステッカーをご用意しています。



アメニティBAR 「清掃不要」マグネットステッカー

生分解性ストローの導入

鳥羽シーサイドホテル(株)

鳥羽シーサイドホテル(株)では、トウモロコシ等のでん粉から得られる乳酸を原料とした植物由来の自然循環型の「生分解性ストロー」を導入しました。



「みえ生物多様性パートナーシップ協定」締結

三交不動産(株)

三交不動産(株)は「みえ生物多様性パートナーシップ協定」における絶滅危惧種カワバタモロコの保護活動の一環として、2019年4月21日に大仏山メガソーラー発電所内のビオトープへカワバタモロコを放流しました。放流当日は、三重大学、鳥羽水族館、地元小学校のお子様をはじめ約50名にご参加いただき、三重大学生物資源学部の河村功一教授にカワバタモロコの生態等についてご説明いただきました。



太陽光利用型環境制御ハウスで「高糖度ミニトマト」生産

三交不動産(株)

三交不動産(株)は、市場規模が大きく、また差別化を図ることのできる「高糖度ミニトマト」に着目し、農業ベンチャー企業の(株)OSMIC様と業務提携いたしました。太陽光利用型環境制御ハウスでの通年栽培により、年間75トンの生産量を目指し、2020年8月に栽培を開始し、9月より出荷を開始しました。この事業への進出により、地域の雇用創出をはじめ、耕作放棄地の活性化等、地方創生の貢献にも繋がることを期待しています。



OSMIC

記念植樹祭

ミドリサービス(株)

ミドリサービス(株)は、2020年3月に、名阪近鉄バス(株)創立90周年記念植樹祭を行いました。植樹祭では、名阪近鉄バス(株)松田前社長をはじめ、大垣市市役所都市施設課の職員様にもご参加いただき、大垣市の市花であるツツジの苗木230本を植樹いたしました。2021年にはミドリサービス(株)も創業70年を迎えます。さらなる地域社会へ貢献できる企業を目指します。

